

令和4年度 郡山ヘアメイクカレッジ
学校関係者評価報告書

学校関係者評価報告責任者: 学校長 土屋郁子

1. 学校関係者評価委員

- ①菅野 功一 株式会社菅野二郎商店 代表取締役
- ②鈴木 扶美 スタジオ・シェルパ代表 卒業生
- ③土屋 郁子 郡山ヘアメイクカレッジ 学校長

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和4年 8月 8日 本校会議室

第2回委員会 令和5年 3月 27日 本校会議室

3. 学校関係者評価委員会報告

①学校の教育目標

「専門教育」と「社会的応用力の育成」に加え、これからの時代に必要不可欠であるグローバルスタンダードな観点から「国際化教育」「情報化教育」を深め、幅広い視野と確かな応用力を備えた創造性豊かな人材育成を目標とする。

- 確かな専門技能と応用力を身につけ、美容界で活躍できる人材を育成する。
- 自ら挑戦し、課題を発見し、これを解決する能力を持ったリーダー(けん引者)となる人材を育成する。
- 社会貢献・地域貢献の精神を持ち、幅広い社会性を備えた人材を育成する。

②本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

【令和4年度に定めた課題事項】

- サービス業の基本であるコミュニケーション能力(言葉遣い・マナー・礼儀・返事・あいさつ)を高めさせる。
- 学力、技術面においての個人差を少しでも無くし全体的なレベルアップ及び意欲的に資格取得をめざす意識づけをする。
- 専門技能と応用力に加え積極性を身に付け、美容業界で望む人材を育成する。
- 教員に対する指導力向上及び資格取得のための研修参加などレベルアップをはかることにより意識と自信を高め教育に活かすことが出来るようにする。

(1)教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	③	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1

①課題

- ・コロナ禍で「国際化教育」「情報化教育」など外からの講師を迎えての交流など出来ない出向くことも出来ない
- ・国家試験合格はもちろんだが、創造性、個性を生かした指導をしていかないといけないのかなと思う。
- ・学生にとって技術や知識を身につけさせ国家試験合格する事はもちろんですが、社会人としての最低限の大切さを身に付けさせたい。
- ・もう一度、理念や目的を把握する機会をつくる。
- ・コミュニケーション能力の向上を目指していく。

②今後の改善方策

- ・やれることや出来ないこと、今までにとらわれず新しいやり方など目先を変えて一歩前進。
- ・自分で考えて創り上げるような授業をもう少し増やしていく。
- ・授業中、それ以外での学校生活において、TPOに応じたあいさつや態度対応ができるよう接遇面を強化する。そのためには教員自らの意識が大切。
- ・学則や便覧をしっかりと理解する。
- ・あいさつ、授業や普段の生活での言葉遣いや返事など見逃さず指導していく。慣れるのも大切だが悪い方慣れさせないようにしていく。

③特記事項

・スタイルブック作りなど。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(2)学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	③	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

①課題

・ホームページやSNSを活用した情報公開をより伝わりやすいものにしていく。

・出来る仕事の幅を増やす。

②今後の改善方策

・システムの改善、それに伴い私自身のスキルアップが必要。

・困難なことや分からないことを積極的に聞く。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	③	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	③	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	③	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	③	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産業連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	③	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	③	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
・職員の能力開発のための研修が行われているか	4	③	2	1

①課題

・SNSの使い方(作品撮りなど)が、今の時代は主流になってきている。

・日々の業務量から研修等への参加が難しくなっている。

・学業、実技の成績不良者に対しての指導をどのように行うか。どの時期から行うか。

・選択コースの改善を検討しながら、教員の知識を増やし、指導側にもスキルと自信を身につけさせる。

・美容業の素晴らしさや厳しさの再確認。

②今後の改善方策

・SNSの使い方での目にとまるような(髪型、メイク等)を載せ方など知っておくとよいのかなと思う。

・指導力向上に関するものなど専各連主催の研修等、内容に応じ利用していく。

・試験などの直前に行うだけでなく、先を見据えて前もって放課後や空いた時間での指導を行っていく。

・外部団体とも連携しながら学校内での研修や勉強会の機会を増やす。

・これからの世代の学生との向き合い方、モラル、ジェンダーなど。

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(4) 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・就職率の向上が図られているか	④	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1

①課題

- ・オンラインでの面接等で実際にサロンを見ていない生徒もでてくる。(コロナ禍になって)
- ・学生の資格取得、就職への意欲向上。
- ・退学率の低減。

②今後の改善方策

- ・実際にサロン等を自分で体感してサロン選びをしていく。
- ・卒業生のキャリア形成把握なども含め、情報収集をすることと、それを現在の学生へ伝達していく。
- ・マイナスイメージのつかないような授業内容の提案。

③特記事項

- ・卒業生との結びつきという点で今後も卒業生の動向調査の実施の継続が必要。
- ・就職率は毎年高く維持しているが、必要な学生がいれば面接の模擬練習等も行っても良いと思った。
- ・卒業生の講話ができればやりたいと思う。

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(5) 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	②	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	③	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	②	1

①課題

- ・心の病や特有の個性を持った生徒もいるため、そういった生徒との関わり方。
- ・精神面が弱く、学校を続けて欠席してしまう学生が増加している。
- ・奨学金制度や交通費の助成制度を実施し、充実したサポート体制が整っているが、一番難しいのは学生の精神面でのサポートではないかと思う。
- ・卒業生の活躍を進路ガイダンスのときだけ伝えるのではなく、授業の中でも伝えられる場を設ける。

②今後の改善方策

- ・保護者との話し合いや本人と話し合うことで理解を得る。
- ・学生に対してこちらから話を聞いたりするなどしていきケアをしていくのも必要と感じた。
- ・夢を持って入学してきた学生に対して、安心して学べる環境づくりが大切であると思う。
- ・大型サロンや有名サロンで働いている卒業生にコンタクトをとる。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし

(6) 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	④	3	2
・学内外の実習施設・インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	②	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

①課題

- ・今後は学校外の活動も可能な情勢になると思うので、積極的に研修や大会等への参加があると良いと思う。

②今後の改善方策

- ・特になし

③特記事項

・防災訓練は年間計画に組みこむ。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(7) 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

①課題

- ・ホームページ等での伝わりやすい工夫ができたと思う。
- ・少子化になり、美容業の仕事に興味をもたせなければならない。(美容師が減らないように)
- ・毎年の入学生を一定数以上維持していくこと。

②今後の改善方策

- ・美容業の楽しさを知ってもらえるような宣伝をしていかなければならない。
- ・体験入学やガイダンスが大きく印象に残ると思うので、教職員だけでなく学生を通じて本校の良さを伝えていく。学生が体験入学でどのように参加した方にコミュニケーションをとるべきなのか、どういったことを伝えて欲しいのかなど事前に指導していく。

③特記事項

- ・今後も支援制度なども含め、増えたところ、変更になるところなど、職員間での共通理解を図ることが必要。

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(8) 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
・予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	③	2	1

①課題

- ・電気の節電等、今後もつづくであろう物価高騰に対応していくことが必要。

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

①課題

- ・結果を真摯に受けとめそれに対応する。

②今後の改善方策

・特になし

③特記事項

・特になし

④学校関係者評価委員コメント

・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	4	3	②	1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
・学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	4	3	②	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

①課題

- ・コロナ禍でなかなか機会ができないがいろんな人にふれあうことでコミュニケーションがとれるので少しずつひとにふれあう機会をつくる。
- ・コロナ禍ですべてのことで実施不可状態。
- ・ボランティアに積極的に参加する。(イベント会場など)
- ・今後少しずつボランティア活動を再開できればと思う。

②今後の改善方策

- ・ボランティア活動で該当するものがあれば参加をしていく。
- ・授業の中で取り入れる。

③特記事項

- ・特になし

④学校関係者評価委員コメント

- ・特になし